

# 吉里小だより

学校だより

令和6年3月1日

No.11

最後まで つなげよう 全力で

校長 西脇 久美子

草木の新芽が出始め、春の訪れを感じる頃となりました。朝、校門に立っていると、「おはようございます。」と気持ちのよい挨拶と共に、そっと、つくしを手渡してくれる子がいます。温かい吉里小学校の子の思いに触れ、私の心にも春風が吹いています。

2月も行事が盛りだくさんでしたが、回を追うごとに子どもたちの成長を実感できる嬉しい月となりました。

## 【閉校並びに150周年記念式典開催（2月10日）】

吉里小の皆の思いを込めた様々な作品に囲まれ、温かい雰囲気で行うことができました。第2部では、岐阜総合学園の太鼓部による勇壮な演奏を皮切りに、子どもたちが主役となり、大切にしてきた4つの伝統を確かめ合いました。また、思い出スライドショーで吉里小の歴史を振り返り、お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを伝えることもできました。さらに、大合唱を通して会場の皆さんと吉里小への思いを共有し、絆を深めることができました。開催に当たってご尽力いただきましたPTA役員はじめ実行委員の皆様、温かいご支援を賜りました保護者や地域の皆様、当日ご参観いただきました皆様、誠にありがとうございました。



## 【吉里小学校見学（2月14日～16日）】

期間中の放課後に学校を解放し、訪れた方に校舎や展示物を見ていただきました。40人以上の方が在校時代の吉里小学校を懐かしみながら見学されました。思い出話を聞きながら、吉里小学校がいかに地域に愛され、支えられてきたかを改めて感じたひとときでした。

## 【6年生に感謝をする会 第1部～なかよし班毎に～（2月28日）】5年生リーダーデビューです！

5年生の新企画としての「全校宝探し」となかよし班遊びを行いました。（裏面参照）振り返りでは、「皆が楽しめてよかった。」「『ナイス』といった声かけがあってよかった。」「5年生の子が進行してくれて、仲間を助ける場所もしっかりできてよかった。」等、仲間との関わりの視点で話す姿に、絆の深まりを感じると共に、一人一人の子どもたちの成長ぶりも感じました。

## 【6年生に感謝をする会 第2部～全校で～（2月29日）】

どの学年も、6年生へ感謝の気持ちを伝えるために工夫を凝らし、個性が光る素敵な発表でした。また、6年生からも温かいメッセージを、歌とダンスで伝えてくれました。笑いあり、涙あり、互いに心がつながっているのを感じる感動的な会となりました。ご参観いただいた学校評議員の方からも、「涙が出るくらい感動した。」「子どもたちがやりたいことを考え、思ったことをそのまま表現し、個性あふれていて、見ごたえがあった。」「先生が子どもの力を信じて任せているし、子どもも自信をもっている。」「これまでの取組、人と人など、全てが繋がっていて、集大成となる会だった。」等と、お褒めの言葉をたくさんいただきました。また、立派に会を企画運営してくれた5年生、会場の準備を5年生と一緒にしてくれた4年生の姿から、次期リーダーとなる自覚とやる気を感じ、頼もしさと期待が膨らみました。



4年生から送った手作りの花束

## 【…そして翌日の朝】

1～5年生に海津小学校に向けての説明会を行いました。その際、1～4年生と5年生が向き合い、企画運営してくれた5年生に4年生の下田さんが感謝の言葉を述べた後皆でお礼を言いました。この動きは、実は事前に何も伝えずに行いましたので、初め子どもたちは戸惑っていましたが、すぐに切り替えて、きちんとお礼を伝えることができました。自分で考え、自分の言葉で思いを伝える力や柔軟に対応する力もついてきていることを確信し、これも嬉しい成長でした。



残すところは卒業式と修了式です。修了式には、例年、離任式を行っていましたが、今年度は、「旅立ちの会」と名付け、短い時間ではありますが、皆の門出を祝い、希望とやる気に満ちた会にしたいと考えています。

授業日は残り14日、支えてくださっている方々への感謝の気持ちを胸に全力で取り組み、4つの伝統をさらに本物の力にして有終の美を飾るべく、子どもたちと職員と共に、邁進して参ります。